

速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ  
第二十八條 前條ニ於ケル始審裁判所ノ裁判ハ控訴スルコトヲ許サス但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第二十九條 選舉人名簿ハ六月十五日ヲ以テ確定期限トシ次年ノ調製ノ日マテ之ヲ振置クヘシ但シ裁判官渡書ニ依リ改正スヘキモノハ選舉長ニ於テ其ノ言渡書ヲ受取リタル時ヨリ二十四時内ニ之ヲ改正シ其ノ由ヲ申立人又ハ被告人所在地ノ町村長又ハ市長若ハ區長ニ通知シ併セテ選舉區内ニ告示スヘシ

第六章 選舉ノ期日及投票所  
第三十條 選舉ノ投票ハ通常七月一日ニ之ヲ行フ但シ衆議院解散ヲ命セラレタルトキハ勅令ヲ以テ臨時撰舉ノ期日ヲ定メ少クトモ三十日以前ニ公布スヘシ

第三十一條 投票所ハ町村役場又ハ町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ設ケ町村長之ヲ管理ス

第三十二條 一町村ニ於テ撰舉人少數ニシテ一ノ投票所ヲ設ケルニ足ラサルトキハ數町村ヲ合併スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ郡長ハ府縣知事ノ認可ヲ經テ合併ノ町村及投票所並ニ投票所管理ノ

町村長ヲ指定スヘシ  
第三十三條 町村長ハ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル撰舉人中ヨリ立會人二名以上

五名以下ヲ定メ週クトモ撰舉ノ期日ヨリ三日以前ニ之ヲ本人ニ通知シ撰舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ

立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第七章 投票  
第三十四條 投票ハ午前七時ニ始メ午後六時ニ終ル

第三十五條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ二種ノ輪ヲ設ケ其ノ一ハ町村長之ヲ管守シ其ノ一ハ立會人之ヲ管守スヘシ

第三十六條 町村長ハ投票ノ初ニ當リ立會人ト共ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示スヘシ

第三十七條 選舉人ハ選舉ノ當日日本人自ラ投票所ニ至リ撰舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票スヘシ

第三十八條 投票用紙ハ各府縣各ノ一定ノ式ヲ用キ選舉ノ當日投票所ニ於テ町村長ヨリ之ヲ各選舉人ニ交付スヘシ

選挙人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ被選人ノ姓名ヲ記載シ次ニ自己ノ姓名住所ヲ記載シテ捺印スヘシ

第三十九條 選挙人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ町村長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀ミ聞カセ捺印投票セシメ其ノ由ヲ投票明細書ニ記載スヘシ

第四十條 二人以上ノ議員ヲ選挙スヘキ選挙區ニ於テハ連名投票ヲ用ウヘシ

第四十一條 選挙人名簿ニ記載セラレタル者ノ外投票スルコトヲ得ス但シ選挙人名簿ニ記載セラルヘキ裁判官渡書ヲ所持シ選挙ノ當日投票所ニ至ル者アルトキハ町村長ハ投票用紙ヲ交付シ投票セシメ其ノ由ヲ投票明細書ニ記載スヘシ

第四十二條 投票終ルノ時期ニ至リタルトキハ町村長ハ其ノ由ヲ告ケ投票函ヲ閉鎖スヘシ投票函閉鎖ノ後ハ總テ投票スルコトヲ許サス

第四十三條 町村長ハ投票明細書ヲ作り投票ニ關ル一切ノ事項ヲ記載シ立會人ト共ニ署名スヘシ

第四十四條 町村長ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日投票函及投票明細書ヲ併セテ選挙管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ送致スヘシ

第四十五條 一選挙區内ニアル島嶼ニシテ前條ノ期限内ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情况アルトキハ府縣知事ハ人名簿確定ノ日ヨリ選挙ノ期日マテノ間ニ於テ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ選挙會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

### 第八章 選挙會

第四十六條 選挙會ハ選挙管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ於テ之ヲ開ク

第四十七條 撰舉長ハ各投票所ヨリ參會シタル立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選挙委員三名以上七名以下ヲ定ムヘシ

第四十八條 選挙長ハ投票函送達ノ翌日選挙委員立會ノ上各投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若シ投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ其ノ由ヲ選挙明細書ニ記載スヘシ

第四十九條 總數ノ計算ヲ終リタルトキハ選挙長ハ撰舉委員ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第五十條 各選挙區ノ選挙人ハ其ノ選挙會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條 左ニ掲クル投票ハ無効トス  
一 選挙人名簿ニ記載ナキ者ノ投票但シ裁判官渡書ヲ所持シタルニ依リ投票シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

二 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ  
 三 選舉人自己ノ姓名ヲ記載セサルモノ  
 四 資格ナキ被選人ノ姓名ヲ記載スルモノ但シ連名投票ニ列記スル人員中資格アル者ニ付テハ其ノ効アルモノトス  
 五 誤字又ハ汚染塗抹毀損ニ依リ記載スル所ノ選舉人又ハ被選人ノ姓名ヲ認知スヘカラサルモノ但シ通常ノ假名字ヲ用キ又ハ誤字ニ係ルモ明ニ其ノ姓名ヲ認知スルコトヲ得ルモノハ此ノ限ニ在ラス  
 六 第三十八條第二項ニ規定シタル外他ノ文字ヲ記載シタルモノ但シ被選人ノ指名ヲ誤ラサル爲ニ其ノ官位職業身分住所ヲ附記シ又ハ敬稱ヲ用キタルモノハ此ノ限ニ在ラス  
 第五十二條 投票効力ノ有無ニ付疑義アルトキハ撰舉委員ノ意見ヲ出キ撰舉長之ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ撰舉會場ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス  
 第五十三條 無効ノ投票ハ抹線ヲ加ヘ其ノ由ヲ撰舉明細書ニ記載シ一箇年間保存シ期限ヲ經過シタル後之ヲ燒棄ツヘシ  
 第五十四條 一投票ニシテ其ノ撰舉スヘキ定員ヨリ多キ被選人ノ姓名ヲ記載シタルトキ

ハ其ノ定員ニ超エタル人名ヲ末尾ヨリ除却スヘシ  
 連名投票ニシテ其ノ撰舉スヘキ定員ニ足ラサルトキハ現ニ記載シタル者ノミヲ計算スヘシ但シ一人ノ姓名ヲ複記シタル者ハ一人トシテ之ヲ計算スヘシ  
 第五十五條 投票ハ六十日間郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ保存シ期限ヲ經過シタル後之ヲ燒棄ツヘシ  
 第五十六條 撰舉ニ關リ訴訟又ハ告訴告發アルトキハ第五十三條第五十五條ノ期限ヲ經過スルモ裁判確定ニ至ルマテ其ノ投票ヲ保存スヘシ  
 第五十七條 撰舉長ハ撰舉明細書ヲ作り撰舉點檢ニ關ル一切ノ事項ヲ記載シ撰舉委員ト共ニ署名シ之ヲ保存スヘシ  
 第九章 當選人  
 第五十八條 投票總數ノ最多數ヲ得タル者ハ之ヲ當選人トス  
 投票同數ナルトキハ生年月ノ長者ヲ以テ當選人トナス同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ  
 第五十九條 當選人定マリタルトキハ撰舉長ハ區ニ其ノ姓名及投票ノ數ヲ府縣知事ニ届出ヘシ

第六十條 府縣知事前條ノ届出ヲ受ケタルトキハ各當撰人ニ通知シ其ノ姓名ヲ管内ニ告

示スヘシ

第六十一條 當撰人當撰ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ當撰ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ

届出ヘシ

第六十二條 一人ニシテ數撰區ノ當撰人トナリタル者當撰ノ通知ヲ受ケタルトキハ何

レノ撰區ノ當撰ヲ承諾スル旨ヲ府縣知事ニ届出ヘシ

第六十三條 當撰人其ノ府縣内ニ在ル者ハ十日以内其ノ府縣外ニ在ル者ハ二十日以内ニ

當撰承諾ノ届出ヲ爲サルトキハ其ノ當撰ヲ辭シタルモノト見做スヘシ

第六十四條 當撰人ニシテ其ノ當撰ヲ辭シ又ハ期限内ニ其ノ當撰ノ承諾ヲ届出サルトキ

ハ府縣知事ハ撰舉ノ期日ヲ定メ其ノ撰舉長ニ命シ再ヒ撰舉ヲ行ハシムヘシ但シ第五十

八條第二項ノ場合ニ於テ抽籤ニ依リ當籤ヲ得タル者其ノ當撰ヲ辭シ又ハ其ノ承諾ヲ届

出サルトキハ抽籤ニ依リ當撰ヲ失ヒタル者ヲ以テ當撰人ト定ムヘシ

第六十五條 各撰區ノ當撰人確定シタルトキハ府縣知事ハ當撰證書ヲ付與シ及管内ニ

告示シ並ニ當撰人ノ資格ヲ録シテ内務大臣ニ具申スヘシ

第十章 議員ノ任期及補選

第六十六條 議員ノ任期ハ四箇年トス但シ任期ヲ終リタル後仍撰舉ニ應スルコトヲ得

第六十七條 議員ノ闕員アルニ由リ内務大臣ヨリ補選ヲ開クヘキ旨ヲ命セラレタル

トキハ府縣知事ハ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ闕員ノ撰舉區ニ限リ臨時撰舉

ヲ行ヒ補選議員ヲ撰舉セシムヘシ

第六十八條 補選議員ノ任期ハ前議員ノ任期ニ依ル

第十一章 投票所取締

第六十九條 投票管理ノ町村長ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官

吏ノ處分ニ付スルコトヲ得

第七十條 凡テ武器又ハ兇器ヲ携帯スル者ハ投票所ニ入ルコトヲ許サス

第七十一條 撰舉人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ許サス

第七十二條 投票所ニ於テハ一切ノ演說討論及喧譟ニ涉リ又ハ他人ノ投票ヲ勸誘スルコ

トヲ禁ス

第七十三條 投票所ニ於テ秩序ヲ紊ル者アルトキハ町村長ハ之ヲ警戒シ其ノ命ニ從ハサ

ルトキハ之ヲ投票所ノ外ニ退出セシムヘシ

第七十四條 投票所ノ外ニ退出セシメタル者ハ犯罪者ヲ除ク外其ノ投票ヲ爲サシムル爲

ニ再ヒ投票所ノ内ニ呼入ル、コトヲ得

第七十五條 投票所ニ參會シタル撰舉人ニシテ刑法又ハ此ノ法律ノ罰則ヲ犯シタル者ハ投票スルコトヲ禁シ其ノ姓名事由ヲ投票明細書ニ記載スヘシ

第七十六條 投票ニ關ル異議ノ申立ニ付町村長ノ決定ニ對シテハ投票所ニ於テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七十七條 撰舉管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ於テ撰舉會ノ參觀ヲ求ムル者ハ總テ第六十九條ヨリ第七十三條ニ至ルマデノ例ニ照シ撰舉長之ヲ處分スヘシ

第十二章 當撰訴訟

第七十八條 各撰舉區ニ於テ當撰ヲ失ヒタル者當撰人ノ當撰ヲ無効トスルノ理由アリト認ムルトキハ當撰人ヲ被告トシ第六十五條ニ掲ケタル當撰人ノ姓名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得  
其ノ期限ヲ經過シタル後出訴スルモ其ノ効ナシ

第七十九條 原告人ハ訴訟狀ト共ニ保證金トシテ金三百圓又ハ之ニ相當スル公債證書ヲ控訴院書記局ニ預置ク、シ

第八十條 原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判言渡ノ日ヨリ七日以内ニ一切ノ裁判費用ヲ納完

セサルトキハ保證金ヨリ之ヲ控除シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴スヘシ

第八十一條 同一ノ當撰人ニ對シ二人以上ノ原告人訴訟ヲ爲シタルトキハ控訴院ハ一ノ裁判言渡書ヲ以テ各訴訟人ニ宣告スルコトヲ得

第八十二條 審判中衆議院解散ノ命アルトキハ控訴院ハ其ノ訴訟ヲ棄却スヘシ

第八十三條 原告人訴訟ヲ願下クルトキハ同時ニ其ノ由ヲ新聞紙又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

第八十四條 控訴院ハ當撰訴訟ヲ審判スルニ當リ本訴ニ關係スル刑法又ハ此ノ法律ノ犯罪者ニ對シ直ニ處刑ノ言渡ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ檢察官ヲシテ立會ハシムヘシ  
當撰訴訟ニ關係セサル場合ニ於ケル此ノ法律ノ犯罪者ハ所轄刑事裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス

第八十五條 控訴院ニ於テ當撰訴訟ヲ判定シタルトキハ其ノ裁判言渡書ノ謄本ヲ內務大臣ニ送付スヘシ若衆議院開會スルトキハ併セテ之ヲ議長ニ送付スヘシ

第八十六條 當撰訴訟ニ付控訴院ノ裁判ニ對シテハ大審院ニ上告スルコトヲ得

第八十七條 訴訟ノ目的タル當選人ハ其ノ裁判確定ニ至ルマテ衆議院ニ列席スルノ權ヲ

失ハス

第八十八條 當選訴訟ニ付本章ニ規定シタルモノ、外總テ普通ノ訴訟手續ニ依ル

第十三章 罰則

第八十九條 納税額年齢住所及其ノ他選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ四圓以上四拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若ハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

其ノ授與又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第九十一條 直接又ハ間接ニ金錢物品手形若ハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シテ投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止シタル者ハ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス

其ノ授與又ハ約束ヲ受ケ投票ヲ爲シ又ハ投票ヲ爲サ、ル者亦同シ

第九十二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以

上五拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十三條 選舉人ニ暴行ヲ加ヘテ投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止シタル者ハ三月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ拾圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十四條 撰舉人ヲ強逼シ又ハ投票所若ハ撰舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ扣留毀壞若ハ劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ拾圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第九十五條 選舉ノ際管理者又ハ立會人ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ投票所若ハ撰舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ扣留毀壞若ハ劫奪シタル者ハ四月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ  
多衆ヲ嘯聚シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ重禁獄ニ處ス

其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス  
犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帶シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第九十七條 演說又ハ新聞紙若ハ其ノ他ノ文書ヲ以テ人ヲ教唆シ前三條ノ罪ヲ犯サシメタル者ハ刑法第五條ノ例ニ依ル其ノ教唆ノ効ナキ者モ仍本刑ニ二等又ハ三等ヲ減シ處斷ス

第九十八條 戎器又ハ兇器ヲ携帶シテ投票所若ハ選舉會場ニ入りタル者ハ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 當選人ニ於テ第八十九條ヨリ第九十八條ニ至ルマテノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ハ無効トス

第一百條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタル者及第十四條ニ依リ選舉人タルコトヲ得サル者投票ヲ爲シタルトキハ四圓以上四拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百一條 前數條ノ罪ヲ犯シ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ再ヒ罰金ノ刑ニ處セラレタル者ハ三年以上七年以下ノ選舉權及被選舉權ヲ停止ス

第一百二條 立會人正當ノ事故ナクシテ此ノ法律ニ規定シタル義務ヲ欲クトキハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百三條 本章ニ規定シタル罰則ノ外刑法ニ正條アルモノハ各一其ノ條ニ依リ重キニ從テ處斷ス

第一百四條 凡テ選舉ニ關ル犯罪ハ六箇月ヲ以テ期滿免除トス

第一百五條 此ノ罰則ハ第十一章ノ各條ト共ニ投票所及選舉會場ニ貼示スヘシ

第十四章 初則  
第一百六條 市ニ於テハ一市ニ一ノ投票所ヲ設ケ此ノ法律ニ規定シタル投票及選舉ノ管理ハ市長兼テ之ヲ掌ルヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ一選舉區ニ一ノ投票所ヲ設ケ此ノ法律ニ規定シタル投票及選舉ノ管理ハ區長兼テ之ヲ掌ルヘシ

第一百七條 前條ノ場合ニ於テハ市長又ハ區長ハ其ノ管理スル選舉區内ニ於ケル選舉人中ヨリ立會人三名以上七名以下ヲ定メ週クトモ選舉ノ期日ヨリ三日以前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日選舉管理ノ市役所又ハ區役所ニ參會セシムヘシ

立會人ハ投票ニ立會ヒ併セテ投票ヲ點檢スヘシ  
此ノ場合ニ於ケル選舉明細書ハ併セテ投票ノ事項ヲ記載スヘシ

第一百八條 島司ヲ置ク地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル選舉長ノ職務ハ島司之ヲ掌ル

ヘシ

第百九條 町村制ヲ施行セサル町村ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル町村長ノ職務ハ戸長  
之ヲ掌ルヘシ

第百十條 選舉人名簿調製ノ初年ニ限り所得稅法施行以來第六條第八條ニ規定シタル納  
稅額ヲ引續キ納完シタル者ハ其ノ納稅資格ノ期限ニ充ツルモノト見做スヘシ

第百十一條 北海道沖繩縣及小笠原島ニ於テハ將來一般ノ地方制度ヲ準行スルノ時ニ至  
ルマテ此ノ法律ヲ施行セス

衆議院議員撰擧法附錄

東京府 議員總數十二人

第一區 麹町區麻布區赤坂區一人

第二區 芝區一人

第三區 京橋區一人

第四區 日本橋區一人

第五區 本所區深川區一人

第六區 淺草區一人

第七區 神田區一人

第八區 下谷區本郷區一人

第九區 小石川區牛込區四谷區一人

第十區 東多摩郡南豐島郡北豐島郡一人

第十一區 南足立郡南葛飾郡一人

第十二區 荏原郡伊豆七島一人

京都府 議員總數七人

第一區 上京區一人

第二區 下京區一人



- 第三區 愛宕郡葛野郡乙訓郡紀伊郡一人
- 第四區 宇治郡久世郡相樂郡綴喜郡一人
- 第五區 南桑田郡北桑田郡船井郡天田郡何鹿郡二人
- 第六區 加佐郡與謝郡中郡竹野郡熊野郡一人

大阪府 議員總數十人

- 第一區 西區一人
- 第二區 東區北區一人
- 第三區 南區一人
- 第四區 西成郡東成郡住吉郡二人
- 第五區 島上郡島下郡豐島郡能勢郡一人
- 第六區 茨田郡交野郡澁良郡河內郡若江郡高安郡一人
- 第七區 石川郡八上郡古市郡安宿郡部郡錦部郡丹南郡志紀郡丹北郡大縣郡澁三郡一人
- 第八區 堺區大島郡泉郡一人
- 第九區 南郡日根郡一人

神奈川縣 議員總數七人

- 第一區 橫濱區一人
- 第二區 久良岐郡橘樹郡都筑郡一人

- 第三區 南多摩郡西多摩郡北多摩郡二人
- 第四區 三浦郡鎌倉郡一人
- 第五區 高座郡愛甲郡津久井郡一人
- 第六區 大住郡洵綾郡足柄上郡足柄下郡一人

兵庫縣 議員總數十二人

- 第一區 神戸區一人
- 第二區 武庫郡菟原郡川邊郡有馬郡一人
- 第三區 多紀郡氷上郡一人
- 第四區 八郡郡明石郡美嚢郡一人
- 第五區 加古郡印南郡一人
- 第六區 加東郡多可郡加西郡一人
- 第七區 飾東郡飾西郡神東郡神西郡一人
- 第八區 揖東郡揖西郡赤穂郡佐用郡宍粟郡二人
- 第九區 城崎郡美含郡氣多郡出石郡七美郡二方郡養父郡朝來郡二人
- 第十區 津名郡三原郡一人

長崎縣 議員總數七人

- 第一區 長崎區西彼杵郡二人

- 第二區 東彼杵郡北高來郡一人
- 第三區 南高來郡一人
- 第四區 北松浦郡壹岐郡石田郡一人
- 第五區 南松浦郡一人
- 第六區 上縣郡下縣郡一人

新潟縣 議員總數十三人

- 第一區 新潟區西蒲原郡一人
- 第二區 北蒲原郡東蒲原郡嚴船郡二人
- 第三區 中蒲原郡一人
- 第四區 南蒲原郡一人
- 第五區 古志郡三島郡二人
- 第六區 刈羽郡一人
- 第七區 北魚沼郡南魚沼郡中魚沼郡東頸城郡二人
- 第八區 中頸城郡西頸城郡二人
- 第九區 雜太郡加茂郡羽茂郡一人

埼玉縣 議員總數八人

- 第一區 北足立郡新座郡一人

- 第二區 入間郡高麗郡橫見郡比企郡二人
- 第三區 南埼玉郡北葛飾郡中葛飾郡二人
- 第四區 北埼玉郡大里郡榑羅郡榛澤郡男衾郡二人
- 第五區 兒玉郡賀美郡那珂郡秩父郡一人

群馬縣 議員總數五人

- 第一區 東群馬郡南勢多郡利根郡北勢多郡一人
- 第二區 新田郡山田郡邑樂郡一人
- 第三區 佐位郡那波郡綠野郡多胡郡南甘樂郡一人
- 第四區 西群馬郡片岡郡吾妻郡一人
- 第五區 北甘樂郡碓氷郡一人

千葉縣 議員總數九人

- 第一區 千葉郡市原郡一人
- 第二區 東葛飾郡印旛郡下埴生郡南相馬郡二人
- 第三區 香取郡一人
- 第四區 海上郡匝瑳郡一人
- 第五區 山邊郡武射郡一人
- 第六區 夷隅郡上埴生郡長柄郡一人

第七區 望陀郡周准郡天羽郡一人  
第八區 安房郡平郡朝夷郡長狹郡一人

茨城縣 議員總數八人

第一區 東茨城郡鹿島郡行方郡二人  
第二區 多賀郡久慈郡那珂郡二人  
第三區 西茨城郡真壁郡一人  
第四區 豐田郡結城郡岡田郡西葛飾郡猿島郡一人  
第五區 筑波郡新治郡一人  
第六區 信太郡河內郡北相馬郡一人

椽木縣 議員總數五人

第一區 河內郡芳賀郡一人  
第二區 上都賀郡下都賀郡寒川郡二人  
第三區 安蘇郡足利郡梁田郡一人  
第四區 鹽谷郡那須郡一人

奈良縣 議員總數四人

第一區 添上郡添下郡山邊郡廣瀨郡平群郡一人  
第二區 式上郡式下郡宇陀郡十市郡高市郡葛上郡忍海郡二人

第三區 宇智郡吉野郡一人

三重縣 議員總數七人

第一區 安濃郡一志郡一人  
第二區 三重郡鈴鹿郡奄藝郡河曲郡一人  
第三區 桑名郡員辨郡朝明郡一人  
第四區 飯高郡飯野郡多氣郡一人  
第五區 度會郡答志郡英虞郡北牟婁郡南牟婁郡二人  
第六區 阿拜郡山田郡名張郡伊賀郡一人

愛知縣 議員總數十一人

第一區 名古屋區一人  
第二區 愛知郡一人  
第三區 東春日井郡西春日井郡一人  
第四區 丹羽郡栗原郡一人  
第五區 中島郡一人  
第六區 海東郡海西郡一人  
第七區 知多郡一人  
第八區 碧海郡額豆郡一人

- 第九區 額田郡西加茂郡東加茂郡一人
- 第十區 北設樂郡南設樂郡寶飯郡一人
- 第十一區 湍美郡八名郡一人

靜岡縣 議員總數八人

- 第一區 安倍郡有渡郡一人
- 第二區 富士郡庵原郡一人
- 第三區 志太郡益津郡一人
- 第四區 榛原郡佐野郡城東郡一人
- 第五區 周智郡豐田郡山名郡磐田郡一人
- 第六區 長上郡敷知郡濱名郡引佐郡鹿玉郡一人
- 第七區 那賀郡賀茂郡君澤郡田方郡駿東郡二人

山梨縣 議員總數三人

- 第一區 西山梨郡北巨摩郡中巨摩郡一人
- 第二區 東山梨郡南都留郡北都留郡一人
- 第三區 東八代郡西八代郡南巨摩郡一人

滋賀縣 議員總數五人

- 第一區 滋賀郡高島郡一人

- 第二區 甲賀郡野洲郡栗太郡一人
- 第三區 犬上郡愛知郡神崎郡蒲生郡二人
- 第四區 西淺井郡東淺井郡 香郡以田郡一人

岐阜縣 議員總數七人

- 第一區 厚見郡方縣郡各郡一人
- 第二區 不破郡安八郡一人
- 第三區 海西郡下石津郡多藝郡上石津郡羽栗郡中島郡一人
- 第四區 大野郡池田郡本巢郡鼎田郡山縣郡一人
- 第五區 武儀郡郡上郡一人
- 第六區 加茂郡可兒郡土岐郡惠那郡一人
- 第七區 大野郡益田郡吉城郡一人

長野縣 議員總數八人

- 第一區 上水內郡更級郡一人
- 第二區 下水內郡上高井郡下高井郡一人
- 第三區 小縣郡埴科郡一人
- 第四區 西筑摩郡東筑摩郡南安曇郡北安曇郡二人
- 第五區 南佐久郡北佐久郡一人

第六區 上伊那郡諏訪郡一人  
第七區 下伊那郡一人

宮城縣 議員總數五人

第一區 仙臺區名取郡宮城郡一人  
第二區 柴田郡刈田郡伊具郡亙理郡一人  
第三區 黒川郡加美郡志田郡玉造郡遠田郡一人  
第四區 栗原郡登米郡一人  
第五區 桃生郡牡鹿郡本吉郡一人

福島縣 議員總數七人

第一區 信夫郡伊達郡一人  
第二區 安達郡安積郡一人  
第三區 田村郡殿瀨郡東白河郡西白河郡石川郡二人  
第四區 南會津郡北會津郡大沼郡耶麻郡河沼郡二人  
第五區 菊多郡磐前郡磐城郡檜葉郡標葉郡行方郡宇多郡一人

巖手縣 議員總數五人

第一區 南巖手郡北巖手郡紫波郡二戸郡一人  
第二區 東閉伊郡中閉伊郡北閉伊郡南九戸郡北九戸郡一人

第三區 稗貫郡東和賀郡西和賀郡西閉伊郡南閉伊郡一人  
第四區 江刺郡膽澤郡氣仙郡一人  
第五區 西磐井郡東磐井郡一人

青森縣 議員總數四人

第一區 東津輕郡上北郡下北郡三戸郡二人  
第二區 北津輕郡南津輕郡一人  
第三區 中津輕郡西津輕郡一人

山形縣 議員總數六人

第一區 南村山郡東村山郡西村山郡二人  
第二區 東置賜郡南置賜郡西置賜郡一人  
第三區 飽海郡西田川郡東田川郡二人  
第四區 最上郡北村山郡一人

秋田縣 議員總數五人

第一區 南秋田郡一人  
第二區 山本郡北秋田郡鹿角郡一人  
第三區 河邊郡由利郡一人  
第四區 仙北郡平鹿郡雄勝郡二人

福井縣 議員總數四人

- 第一區 足羽郡大野郡一人
- 第二區 吉田郡阪井郡一人
- 第三區 南條郡今立郡丹生郡一人
- 第四區 三方郡遠敷郡大飯郡敦賀郡一人

石川縣 議員總數六人

- 第一區 金澤郡石川郡二人
- 第二區 能美郡江沼郡一人
- 第三區 河北郡羽咋郡鹿島郡二人
- 第四區 鳳至郡珠洲郡一人

富山縣 議員總數五人

- 第一區 上新川郡婦負郡二人
- 第二區 下新川郡一人
- 第三區 射水郡一人
- 第四區 礪波郡一人

鳥取縣 議員總數三人

- 第一區 巴美郡法美郡殿井郡八上郡八東郡智頭郡一人

第二區 高草郡氣多郡河村郡久米郡八橋郡一人  
 第三區 汗入郡會見郡日野郡一人  
 島根縣 議員總數六人

- 第一區 島根郡秋鹿郡意宇郡一人
- 第二區 能義郡仁多郡大原郡飯石郡一人
- 第三區 出雲郡楯縫郡神門郡一人
- 第四區 邇摩郡安濃郡邑智郡一人
- 第五區 那賀郡美濃郡鹿足郡一人
- 第六區 周吉郡穩地郡海士郡知夫郡一人

岡山縣 議員總數八人

- 第一區 岡山區岡野郡上道郡邑久那兒島郡二人
- 第二區 津高郡赤阪郡磐梨郡和氣郡一人
- 第三區 都宇郡窪屋郡陽郡下道郡一人
- 第四區 淺口郡小田郡後月郡一人
- 第五區 上房郡川上郡哲多郡阿賀郡一人
- 第六區 真島郡大庭郡西條郡西北條郡東南條郡東北條郡一人
- 第七區 勝北郡勝南郡吉野郡英田郡久米北條郡久米南條郡一人

廣島縣 議員總數十人

第一區 廣島區安藝郡二人

第二區 佐伯郡一人

第三區 沼田郡高宮郡山縣郡一人

第四區 高田郡三次郡三谿郡一人

第五區 加茂郡一人

第六區 豐田郡一人

第七區 御調郡世羅郡一人

第八區 深津郡沼隈郡安那郡一人

第九區 蘆田郡品治郡神石郡甲奴郡奴可郡三上郡惠蘇郡一人

山口縣 議員總數七人

第一區 吉敷郡美禰郡厚狹郡佐波郡二人

第二區 阿武郡見島郡大津郡一人

第三區 赤間關區豐浦郡一人

第四區 都濃郡熊毛郡大島郡二人

第五區 玖珂郡一人

和歌山縣 議員總數五人

第一區 和歌山區名草郡海部郡有田郡二人

第二區 伊都郡那賀郡一人

第三區 日高郡西牟婁郡東牟婁郡二人

德島縣 議員總數五人

第一區 名海郡勝浦郡一人

第二區 那賀郡海部郡一人

第三區 名西郡阿波郡麻植郡一人

第四區 板野郡一人

第五區 美馬郡三好郡一人

香川縣 議員總數五人

第一區 香川郡山田郡小豆郡一人

第二區 大內郡寒川郡三木郡一人

第三區 鵜足郡阿野郡一人

第四區 多度郡那珂郡一人

第五區 豐田郡三野郡一人

愛媛縣 議員總數七人

第一區 溫泉郡和氣郡風早郡野間郡久米郡伊豫郡下浮穴郡二人

- 第二區 越智郡桑村郡周布郡一人
- 第三區 喜多郡上浮穴郡一人
- 第四區 新居郡宇摩郡一人
- 第五區 西宇和郡東宇和郡一人
- 第六區 南宇和郡北宇和郡一人

高知縣 議員總數四人

- 第一區 土佐郡長岡郡一人
- 第二區 幡多郡高岡郡吾川郡二人
- 第三區 香美郡安藝郡一人

福岡縣 議員總數九人

- 第一區 福岡區怡土郡志摩郡早良郡一人
- 第二區 糟屋郡宗像郡那珂郡御笠郡席田郡上座郡下座郡夜須郡二人
- 第三區 遠賀郡鞍手郡嘉麻郡穂波郡一人
- 第四區 御井郡御原郡山本郡生葉郡竹野郡一人
- 第五區 三潞郡上妻郡下妻郡一人
- 第六區 山門郡三池郡一人
- 第七區 企救郡田川郡一人

第八區 京都郡仲津郡築城郡上毛郡一人

大分縣 議員總數六人

- 第一區 大分郡一人
- 第二區 北海部郡南海部郡一人
- 第三區 大野郡直入郡一人
- 第四區 速見郡玖珠郡日田郡一人
- 第五區 西國東郡東國東郡一人
- 第六區 下毛郡宇佐郡一人

佐賀縣 議員總數四人

- 第一區 佐賀郡神崎郡小城郡基肄郡養父郡三根郡二人
- 第二區 東松浦郡西松浦郡一人
- 第三區 杵島郡瀬津郡一人

熊本縣 議員總數八人

- 第一區 熊本區飽田郡託麻郡宇土郡二人
- 第二區 玉名郡一人
- 第三區 山鹿郡山本郡菊池郡合志郡阿蘇郡二人
- 第四區 上益城郡下益城郡一人



第五區 八代郡葦北郡球磨郡一人  
第六區 天草郡一人

宮崎縣 議員總數三人

第一區 宮崎郡北那珂郡南那珂郡兒湯郡一人  
第二區 北諸縣郡西諸縣郡東諸縣郡一人  
第三區 東臼杵郡西臼杵郡一人

鹿兒島縣 議員總數七人

第一區 鹿兒島郡谿山郡北大隅郡熊毛郡敷根郡一人  
第二區 給黎郡揖宿郡額娃郡川邊郡一人  
第三區 日置郡阿多郡一人  
第四區 高城郡出水郡南伊佐郡薩摩郡甑島郡一人  
第五區 菱刈郡始良郡桑原郡西嶺嶽郡北伊佐郡一人  
第六區 南諸縣郡南大隅郡肝屬郡東嶺嶽郡一人  
第七區 大島郡一人

衆議院議員選舉法終

會計法

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ會計法ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年二月十一日

內閣總理大臣 伯爵 黑田清隆  
樞密院議長 伯爵 伊藤博文  
外務 大臣 伯爵 大隈重信  
海軍 大臣 伯爵 西鄉從道  
農商務大臣 伯爵 井上 馨  
司法 大臣 伯爵 山田顯義  
大藏 大臣 兼 伯爵 松方正義  
內務 大臣  
陸軍 大臣 伯爵 大山 巖  
文部 大臣 子爵 森 有禮  
遞信 大臣 子爵 榎本武揚

法律第四號

會計法

第一章 總則

第一條 政府ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル  
一會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關ル事務ハ翌年度十一月三十日マテニ悉皆完結ス  
ハシ

第二條 租稅及其ノ他一切ノ收納を歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トシ歳入歳出ハ總豫算ニ  
編入スヘシ

第三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコ  
トヲ得ス

第四條 各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタルモノ、外特別ノ資金ヲ有スルコト  
ヲ得ス

第二章 豫算  
第五條 歳入歳出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ

第六條 歳入歳出ノ總豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分  
スヘシ  
總豫算ニハ帝國議會參考ノ爲ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

第一 各省ノ豫定經費要求書但シ各項中各目ノ明細ヲ記入スヘシ  
第二 其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ歳入歳出現計書

第七條 豫算中ニ設ケヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ  
第一 豫備金  
第二 豫備金

第一 豫備金ハ避ケヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フモノトス  
第二 豫備金ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルモノトス  
第八條 豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムル  
ヲ要ス

第九條 毎年度大藏省 證券發行ノ最高額ハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム  
第三章 收入  
第十條 租稅及其ノ他ノ歳入ハ法律命令ノ規程ニ從ヒ之ヲ徵收スヘシ

法律命令ニ依リ當該官吏ノ資格アル者ニ非サレハ租稅ヲ徵收シ又ハ其ノ他ノ歲入ヲ收納スルコトヲ得ス

第四章 支出

第十一條 毎會計年度ニ於テ政府ノ經費ニ充ツル所ノ定額ハ其ノ年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

國務大臣ハ其ノ所管ニ屬スル收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十三條 國務大臣ハ其ノ所管定額ヲ使用スル爲ニ國庫ニ向ヒテ仕拂命令ヲ發スヘシ但シ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ他ノ官吏ニ委任シテ仕拂命令ヲ發セシムルコトヲ得

第十四條 國庫ハ法律命令ニ反スル仕拂命令ニ對シテ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 國務大臣ハ政府ニ對シ正當ナル債主若ハ其ノ代理人ノ爲ニスルニ非サレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

左ノ諸項ノ經費ニ限リ國務大臣ハ主任ノ官吏ニ委任シ又ハ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金支拂ヲ爲サシムル爲ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得

第一 國債ノ元利拂

第二 軍隊軍艦及官船ニ屬スル經費

第三 在外各處ノ經費

第四 前項ノ外總テ外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第五 運輸通信ノ不便ナル内國ノ地方ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第六 廳中常用雜費ニシテ一箇年ノ總費額五百圓ニ滿タサルモノ

第七 場所ノ一定セサル事務所ノ經費

第八 各廳ニ於テ直接ニ從事スル工事ノ經費但シ一主任官ニ付三千圓マテヲ限ル

第五章 決算

第十六條 會計検査院ノ検査ヲ經テ政府ヨリ帝國議會ニ提出スル總決算ハ總豫算ト同一ノ様式ヲ用非左ノ事項ノ計算ヲ明記スヘシ

歲入ノ部

歲入豫算額

調定濟歲入額

收入濟歲入額

収入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

仕掛命令済歳出額

翌年度繰越額

第十七條 前條ノ總決算ニハ會計検査院ノ検査報告ト俱ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

第一 各省決算報告書

第二 國債計算書

第三 特別會計計算書

第六章 期滿免除

第十八條 政府ノ負債ニシテ其ノ仕掛フヘキ年度經過後滿五箇年内ニ債主ヨリ支出ノ請求若ハ仕掛ノ請求ヲ爲サ、ルモノハ期滿免除トシテ政府ハ其ノ義務ヲ免ル、モノトス

但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 政府ニ納ムヘキ金額ニシテ其ノ納ムヘキ年度經過後滿五箇年内ニ上納ノ告知

ヲ受ケサルモノハ其ノ義務ヲ免ル、モノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第七章 歳計剩餘定額繰越豫算外收入及定額戻入

第二十條 各年度に於て歳計ニ剩餘アルトキハ其ノ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第二十一條 豫算ニ於テ特ニ明許シタルモノ及一年度内ニ終ルヘキ工事又ハ製造ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲ニ事業ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ

之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第二十二條 數年ナ期シテ竣功スヘキ工事製造及其ノ他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ毎年度ノ仕掛殘額ヲ竣功年度マテ遞次繰越使用スルコトヲ得

第二十三條 誤 掛過渡トナリタル金額ノ返納出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入及其ノ他一切豫算外ノ收入ハ總テ現年度ノ歳入ニ組入ルヘシ但シ法律勅令ニ依リ前金渡

概算渡線 替掛ヲ爲シタル場合ニ於ケル返納金ハ各之ヲ仕掛ヒタル經費ノ定額ニ戻入

ル、コトヲ得

第八章 政府ノ工事及物件ノ賣買貸借

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公

ル、コトヲ得

告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得  
ヘシ

第一 一人又ハ一會社ニテ専有スル物品ヲ買入レ又ハ借入ル、トキ

第二 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ買貸借ヲ爲スト

第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者  
キ  
リ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカラサル製品及機械ヲ買入ル、  
トキ

第六 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其ノ位置又ハ構造等ニ限アル場合

第七 五百圓ヲ超エサル工事又ハ物品ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ

第八 見積價格二百圓ヲ超エサル動産ヲ賣却フトキ

第九 軍艦ヲ買入ル、トキ

第十 軍馬ヲ買入ル、トキ

第十一 試験ノ爲ニ工作製造ヲ命シ又ハ物品ヲ買入ル、トキ

第十二 慈善ノ爲ニ設立セル教育所ノ貧民ヲ備役シ及其ノ生産又ハ製造物品ヲ直接ニ  
買入ル、トキ

第十三 囚徒ヲ備役シ又ハ囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ及政府ノ設立ニ係ル  
農工業場ヨリ直接ニ其ノ生産又ハ製造物品ヲ買入ル、トキ

第十四 政府ノ設立シタル農工業場又ハ慈善教育ニ係ル各所ノ生産製造物品及囚徒ノ  
製造物品ヲ賣却フトキ

第十五 軍艦兵器彈藥ヲ除ク外工事製造又ハ物件買入ノ爲ニ前金拂ヲ爲スコトヲ得  
ス

第九章 出納官吏

第二十六條 政府ニ屬スル現金若ハ物品ノ出納ヲ掌ル所ノ官吏ハ其ノ現金若ハ物品ニ付  
一切ノ責任ヲ負ヒ會計検査院ノ検査判決ヲ受クヘシ

第二十七條 前條ノ官吏水火盜難又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ其ノ保管スル所ノ現金若ハ物  
品ヲ紛失毀損シタル場合ニ於テハ其ノ保管上避ケ得ヘカラサリシ事實ヲ會計検査院ニ  
證明シ責任解除ノ判決ヲ受クルニ非サレハ其ノ負擔ノ責ヲ免ル、コトヲ得ス

第二十八條 現金又ハ物品ノ出納ヲ掌ルニ付身元保證金ヲ納メシムルコトヲ要スルモノ

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 仕掛命令ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相兼マルコトヲ得ス

第十章 雜則

第三十條 特別ノ須要ニ因リ本法ニ準據シ難キモノアルトキハ特別會計ヲ設置スルコトヲ得

特別會計ヲ設置スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十一條 政府ハ國庫金ノ取扱ヲ日本銀行ニ命スルコトヲ得

第十一章 附則

第三十二條 本法ノ條項帝國議會ニ關涉セサルモノハ明治二十三年四月一日ヨリ施行シ

其ノ關涉スルモノハ帝國議會開會ノ時ヨリ施行ス

決算ニ係ル條項ハ帝國議會ノ議定ヲ經タル年度ノ歲計ヨリ施行ス

第三十三條 本法ノ條項ト牴觸スル法令ハ各其ノ條項施行ノ日ヨリ廢止ス

會計法終

貴族院令

朕大日本帝國憲法ノ明文ニ依リ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ貴族院令ヲ發布ス此ノ勅令ヲ實施スルノ時期ハ朕力更ニ命スル所ニ依ルヘシ

御名 御璽

- 內閣總理大臣 伯爵 黑田清隆
- 樞密院議長 伯爵 伊藤博文
- 外務大臣 伯爵 大隈重信
- 海軍大臣 伯爵 西鄉從道
- 農商務大臣 伯爵 井上馨
- 司法大臣 伯爵 山田顯義
- 大藏大臣 伯爵 松方正義
- 陸軍大臣 伯爵 大山巖
- 文部大臣 伯爵 有禮
- 遞信大臣 伯爵 本武揚

明治二十二年二月十一日

勅令第拾壹號

貴族院令

第一條 貴族院ハ左ノ議員ヲ以テ組織ス

一 皇族

二 公侯爵

三 伯子男爵各其ノ同爵中ヨリ選舉セラレタル者

四 國家ニ勲勞アリ又ハ學識アル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者

五 各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者ノ中ヨリ一人ヲ互選ニテ勅任セラレタル者

第二條 皇族ノ男子成年ニ達シタルトキハ議席ニ列ス

第三條 公侯爵ヲ有スル者滿二十五歳ニ達シタルトキハ議員タルヘシ

第四條 伯子男爵ヲ有スル者ニシテ滿二十五歳ニ達シ各其ノ同爵ノ選ニ當リタル者ハ七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ數ハ伯子男爵各總數ノ五分ノ一ヲ超過スヘカラス

第五條 國家ニ勲勞アリ又ハ學識アル滿三十歳以上ノ男子ニシテ勅任セラレタル者ハ終身議員タルヘシ

第六條 各府縣ニ於テ滿三十歳以上ノ男子ニシテ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者十五人ノ中ヨリ一人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關ル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 國家ニ勲勞アリ又ハ學識アル者及各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接國稅ヲ納ムル者ヨリ勅任セラレタル議員ハ有爵議員ノ數ニ超過スルコトヲ得ス

第八條 貴族院ハ天皇ノ諮詢ニ應ヘ華族ノ特權ニ關ル條規ヲ議決ス

第九條 貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關ル爭訟ヲ判決ス其ノ判決ニ關ル規則ハ貴族院ニ於テ之ヲ議定シ上奏シテ裁可ヲ請フヘシ

第十條 議員ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタル者アルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ除名スヘシ

貴族院ニ於テ懲罰ニ由リ除名スヘキ者ハ議長ヨリ上奏シテ勅裁ヲ請フヘシ

除名セラレタル議員ハ更ニ勅許アルニ非サレハ再ヒ議員トナルコトヲ得ス

第十一條 議長副議長ハ議員中ヨリ七箇年ノ任期ヲ以テ勅任セララルヘシ

被選議員ニシテ議長又ハ副議長ノ任命ヲ受ケタルトキハ議員ノ任期間其ノ職ニ就クヘシ  
第十二條 此ノ勅令ニ定ムルモノ、外ハ總テ議院法ノ條規ニ依ル  
第十三條 將來此ノ勅令ノ條項ヲ改正シ又ハ増補スルトキハ貴族院ノ議決ヲ經ヘシ

貴族院令終

版權

明治廿二年二月二十日印刷  
全 年二月廿二日出版

定價金十五錢

發行者

濱本伊三郎

大坂府東區北久寶寺町四丁目  
三十五番屋敷

著者

神代良太

同府東區伏見町一丁目  
七番屋敷

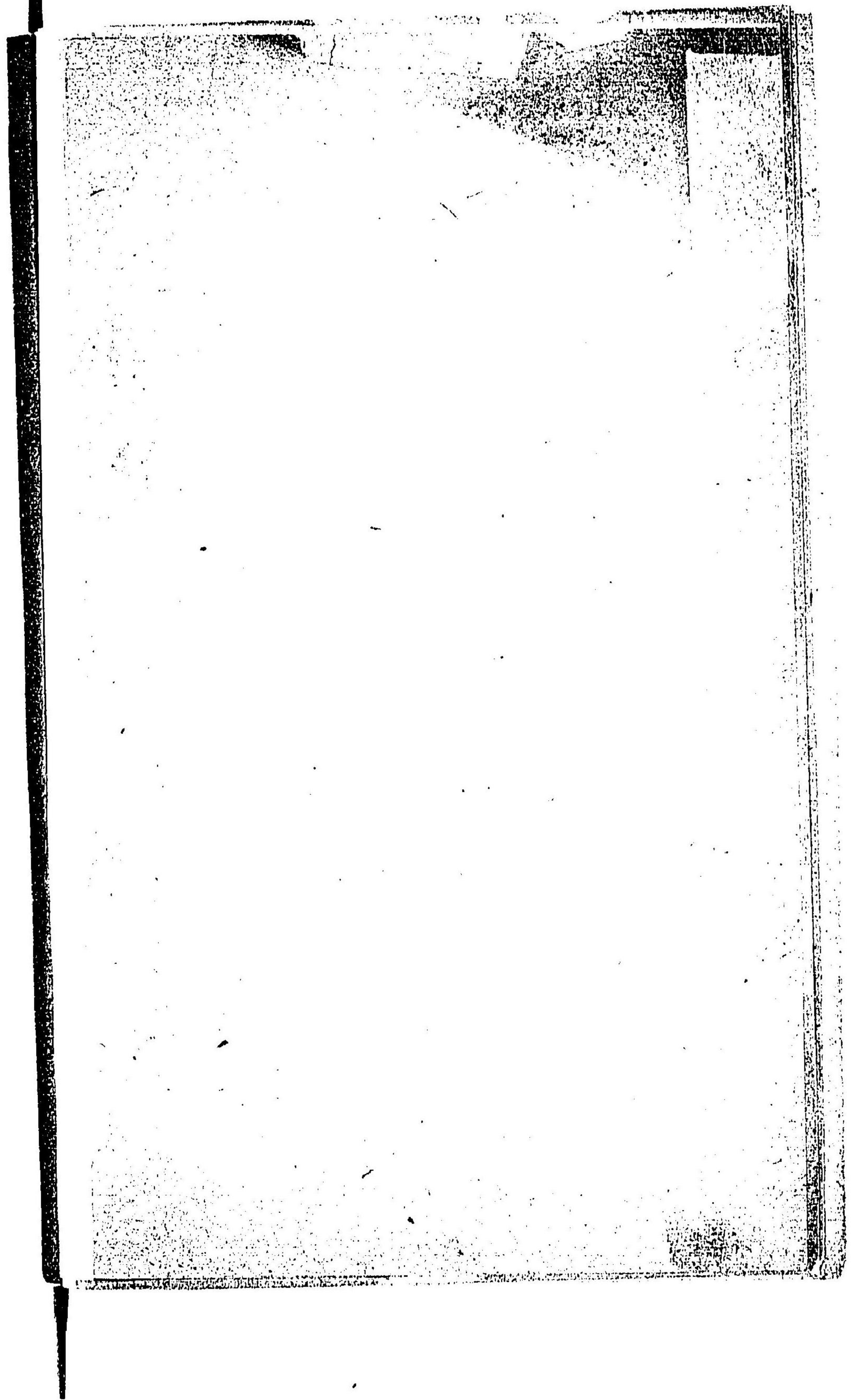
版權所有

印刷者

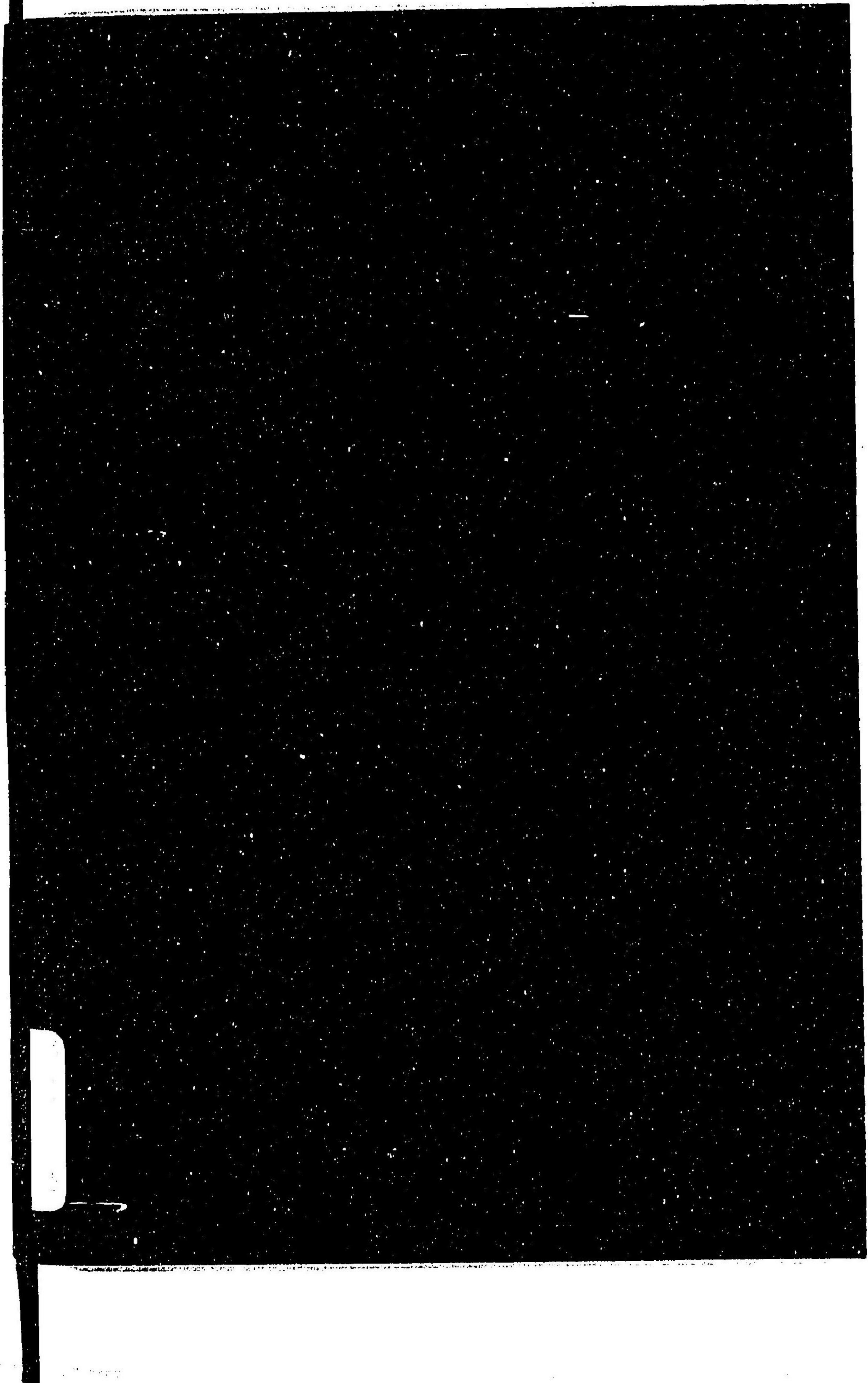
大垣彌太郎

同府東區高麗橋五丁目  
四十五番屋敷









特15

441

帝国宪法问答义解

国立国会図書館

031689-000-3

特15-441

大日本帝国宪法问答义解

神代 良太/著

M22

BBE-0316

